3月 給食だより

2025年度おひさま岡町保育園　　2 月 27 日発行

大きくなる喜びでいっぱいの１ヶ月に！

ようやく春らしい気候となり、毎日春探しの散歩を楽しんでいるこどもたち。

今年度も残すところ 1 カ月となりました。“もうすぐなのはなさんになるよ～。なのはなさんになったら、「みんなではなしあい」したい”と話す、すみれぐみの子がいました。こどもたちの憧れの気持ちがさまざまな場面で膨らむことを感じた瞬間でした。3 月は、大きくなりたい気持ちがぐんと膨らむ月です。“もうすぐひまわりさんになるから、いっぱいおかわりするねん！”と、おかわり宣言をする子。その姿に“ぼくも”“わたしも”と思いが広がっていきます。「みんなで食べる給食」には、そんな意欲のバトンが繋がっていく源があると感じています。

そんなこどもたちの成長を職員や保護者みんなで確かめ合い、共に励まし支えていけたらと思っています。

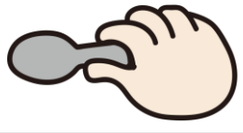
また、生活発表会の給食室の発表にたくさんの感想をお寄せ頂きありがとうございました。

＜お箸が使えるようになるために…＞

すみれぐみのこどもたちが、お箸を使い始めて1ヶ月が過ぎました。お箸を使えることに大きくなった自分を感じたいからこそ、難しくてできないことに向き合いたくない思いで揺れている姿もありました。お箸を使って食べるか食べないかではなく、こどもたちの心の動きに目を向けながら、「使えるようになりたい」、「大きくなりたい」願いが叶えられるように、寄り添い支えていきたいと思っています。

近年、生活が便利になることに伴い、身体を使うことが昔に比べてぐんと減っています。そのため、こどもたちの身体の育ち（咀嚼力、手先、指先の器用さ、姿勢の保持力など）が幼くなっていると言われています。

しっかりと手づかみ食べを経験すること、スプーンを上からにぎって食べる事、スプーンを下手でもって手首を返しながら食べる事、手先の発達に応じてスプーンを使えるようにしていくことが、お箸が扱える手の育ちにつながります。0，1歳時期のこどもたちのスプーンの持ち方も、お箸の移行へとつながっていくことを頭におきながら、こどもたちの姿を見ていきたいと思います。日々の積み重ねの中で身についていくことでもあるので、おうちでもぜひ意識してみてもらえたらと思います。



＜保育園の味を心に刻んで＞

食べることが大好きなひまわりぐみのこどもたち。そして、感性がとても豊かなこどもたち。給食室のカウンターが大好きでいつも集まってくる姿がありました。並んでいる食材を見て、“今日の給食もう何かわかったわ～”“このお野菜使うメニューって、〇〇やろ”と、話す姿があります。給食をしっかりと味わい、時には自分たちでつくる経験も通して、興味関心の広がり、こういった思考力の育ちにもつながっていると感じます。

そんなこどもたちに、保育園の給食で大好きだった味を卒園前にプレゼントしたいと思っています。3 月には【ひまわりぐみリクエストメニュー】の日が 4 日間あります。こどもたちが選んだメニューを全クラスで味わいたいと思います。給食の味を心と身体に刻んで旅立ってほしいと思います。また、卒園しても、給食の味が味わえるように、レシピもこどもたちに渡す予定にしています。

おにG（こうが、あかね、まほこ、ソカ）
- ＊フランスパン
- ＊大根とたらのカレー風味グラタン
- ＊ほうれん草のソテー
- ＊コーンスープ

かみなりG（りつき、てっしん、えいと、ゆいと）
- ＊さつまいもごはん
- ＊鶏肉のからあげ
- ＊ブロッコリーとりんごのサラダ
- ＊春キャベツのスープ

おにたいじG
（とうじろう、みこと、ふうか、かんたろう）
- ＊納豆丼
- ＊ほうれん草とにんじんのごまあえ
- ＊春雨スープ

まめG（はるま、だいと、くるみ、あやと）
- ＊春野菜カレー
- ＊春キャベツのコールスローサラダ

発表会たのしかったねクッキング

2 月は、幼児で「発表会たのしかったねクッキング」をしました。メニューは「（きっこさん）いなりずし」「きんいろあらしスープ」「みんなのために餃子」でした。

“これさ、食べてどうやったか、絶対感想聞かせてな”“パリパリで餃子めっちゃおいしいよ！”“いなりずし、1 番おいしいわ。何個でもたべれる。3個目や！”“ぎょうざ、200 個もつくってんで。さずがひまわりやろ…”“きんいろあらしスープ、もう売り切れや。1 番人気やったんやわ”と、お互いの料理の感想を言い合ったり、自画自賛したり･･･。気づけば、どのメニューも空っぽでした。

みんなでクッキングも今年で 3 年目。この食べる時間の言葉の交わし合いがこどもたちの中で心地よく、料理の味を一層引き立てていることを感じます。だからこそ、作る楽しさにもつながっています。3 月には、異年齢で一緒にクッキングをし、ひまわりぐみの卒園をお祝いしたいと思っています。